

牛と生きる、命と向き合う 生き物への揺るがぬ愛

この地に生きる

天草人

あまくさびと



まつやま しげる
松山 茂さん(71歳):久玉町
飼育頭数:ペット15(牛13頭・猫2匹)
飼料稲:約300アール

○牛と共に育った人生

松山さんは、祖父の代から続く畜産農家に生まれ、生まれた時から牛が身近にいる環境で育ちました。幼い頃から自然と世話を手伝い、気つけば動物を深く愛するようになっていたといいます。

定年までは熊本県無線漁業協同組合で働きながら、家では牛の飼育を続けるといふ二足のわらじ。忙しい日々の中でも、牛と向き合う時間は松山さんにとって欠かせないものでした。

○休みなき365日

「生き物はいつ何が起ころるか分からない。24時間365日、休みはない」と松山さん。セリの日には夜中に起床し、午前3～4時には河浦町の集合場所へ。そこから仲間と乗り合わせて出発します。牛の体調が気になり、眠りが浅くなる夜も少なくありません。

さらに、熊本県下の家畜市場が大津町に本化されてからは輸送の負担も増え、苦労は増すばかり。それでも松山さんは、牛の体調を常に気にかけて、ひとつひとつの命と真剣に向き合っています。

○農協との深い結びつき

松山さんは、牛の飼料となる飼料稲を自ら育てています。配合飼料は農協から購入しており、「おかげでJA米は自分で」と笑いながら話してくれました。

牛深支所の坂下経済課長とは特に親しく、取材時に見せてくれた写真の中でも、坂下課長と並んだ一枚がひとときわかるい笑顔でした。地域の人々とのつながりが、松山さんの畜産を支える大きな力になっています。

○愛こそ最良の薬

松山さんの牛たちは、滅多に獣医の世話になることがありません。その理由を尋ねると、松山さんは迷いなく「愛情です」と答えました。

取材中も、牛に向けるまなざしは優しく、牛たちも安心して表情で寄り添っていました。松山さんに撫でられる牛の穏やかな顔つきは、深い信頼関係を物語っています。



公式ホームページ



公式フェイスブック



公式インスタグラム



「いいね!」してね♪



耐候性ハウスの様子



オリジナルアワの生育状況を確認する池田さん



花材用アワ出荷本格化

上天草市でアワの出荷が本格化しています。JAあまくさのアワは約98.5%が施設栽培。耐候性ハウスを含む施設栽培を導入することで雨風の影響を抑え、穂の揃いが良く高品質のアワの生産を可能にしました。25年産の出荷総本数は約55万本に達し、産地としての存在感を高めています。

現在出荷するのは①在来種②在来種を含む3品種が自然交配して誕生した「あまくさオリジナル」の2品種。なかでもオリジナルは、ひときわ目を引く鮮やかな緑色と、穂全体が空気を含んだようにふんわりと広がる独特の形状が特徴です。

産地化の動きは19年に本格化。生産者は増加傾向にあり、現在は12人が生産に携わります。30～40代が半数を占め、地域農業の担い手として期待されています。

生産者の中でも最大の収量を誇るのが、大矢野町の池田大志さん。栽培面積は約40～50アールで、半年間に22作を作付けし、多い年には約22万本を出荷します。

快適な住環境づくりへ 恒例のゴキブリ団子づくり



団子の生地作りをする女性部員

JAあまくさ女性部上総支部は5月中旬、本格的な梅雨入りを前に、ゴキブリ団子（ホウ酸団子）を作りました。ゴキブリ団子とは、殺虫成分であるホウ酸に、小麦粉などを混ぜて団子状にした毒エサです。家庭の衛生環境を守り、生活改善を図ることを目的としています。

参加者からは「市販薬より効果が期待できる。恒例の行事で部員同士の交流も深められる」といった声が寄せられました。完成したゴキブリ団子は各部員へ配布されました。

病害虫の適期防除を



JAあまくさ中央支所管内で6月2日、早期米水稻の現地検討会を開きました。

検討会では実際に育った苗を見比べながら、6月から7月にかけての栽培管理について確認。主要病害虫の適期防除の徹底や早めの相談を呼びかけました。



成長した苗の葉色を確認するJA職員と生産者

参加者からは「毎年同じようにはいかない。稲の様子をこまめに観察し、その時々合った対応を関係機関と相談しながら心がけたい」との声が寄せられました。



種の重なりを手作業で丁寧に調整する関係者

丁寧な手作業で165箱種まき

Select Topics

JAあまくさトルコギキョウ部会の
大田光雄さんは5月18日、新和町で
2026年産トルコギキョウの種まきを
始めました。この日は約165箱を播
種。1ミリ以下の種を専用器具で均等
に蒔き、その後重なりや空白が生じな
いよう手作業で丁寧に調整しました。
JAあまくさの26年産販売計画は
781千本。蒔いた種は専用の冷蔵庫
で約1か月間保存し、その後育苗ハウ
スで2か月近く管理します。定植は8
月下旬の見込みです。

連作障害対策で 太陽熱に注目



太陽熱消毒について真剣に聞く生産者

JAあまくさは5月20日、牛深町で太陽熱消毒講習会を開きました。牛深地域の生産者ら7人が参加しました。

太陽熱消毒は、太陽光による熱と微生物の発酵熱を利用して病害虫などを駆除する方法です。低コストで、人や作物、土壌への安全性が高いことが強みです。

講習では化学消毒やマルチ資材の活用についても情報共有があり、気象条件に応じて柔軟に対応するよう呼びかけました。

す。番目を誇っています。くさは県内2番目の出荷本数です。



トルコギキョウを選別する竹中さん

姫戸町の竹中洋子さんの圃場で5月20日、トルコギキョウ二番花の出荷が始まりました。2025年産はメーカーの意見を踏まえ、ピンク系の品種を前年の作付けから変更。新たな品種は、鮮やかなピンクの緑芯が特徴です。竹中さんは「本年産は日照不足で出荷が遅れたが、市場や購入者の手元に

トルコギキョウ二番花出荷開始



JA女性部で元気な天草地域を



あいさつをする吉田会長

天草郡市JA女性組織協議会は5月8日、天草市で2025年度通常総会を開きました。天草地域3JAの女性部員や関係者ら約85人が出席し、事業報告や収支予算案など3議案を承認しました。

吉田陽子会長は「自然災害が頻発している中、女性部として被災地支援の共同購入などを通じ、力になっていきたい」とあいさつしました。

地域農業の振興へ 方針確認

2026年度天草郡市農協青壮年部連絡協議会通常総会が5月20日に天草市で開かれ、3JAの関係者ら約60人が参加しました。

総会では事業計画などの3議案を審議し、全て可決しました。

冒頭、小野伸也委員長は資材高騰や異常気象による厳しい状況に触れ、仲間と協力し次世代につながる活動に取り組む決意を述べました。

26年度は地域のポリシーブック作成や農政運動の強化、食農教育の推進、「一声運動」による組織強化を進め、地域農業の振興を図る方針を確認しました。



あいさつをする小野委員長

「何となく不調」な日に取りたい

体が「元気になる」栄養6成分

暑さに負けず元気に過ごすために意識して取りたい栄養成分をご紹介します。
夏に不足しがちなビタミンやタンパク質に加え、食欲増進効果のある栄養成分も一緒に取ると良いでしょう。



暑い時期の疲労回復に
ビタミンB1

豚肉(ヒレやもも)や玄米、豆類、ナッツ類に多く含まれます。炭水化物をエネルギー源に変える役割を担い、疲労回復効果が期待できます。熱に弱く水に溶けやすいため、豚肉をスープなどにして煮汁ごと取るのがおすすめです。



夏の肌トラブル予防に
ビタミンB2

レバーや乳製品、卵などに多く含まれます。脂質の代謝を助け、成長期の子どもの成長をサポートする効果や、皮膚や粘膜の健康を保つ効果が期待できます。汗や皮脂が増える夏は肌トラブルも起こりやすいため、積極的に取りたいですね。



暑さに負けぬ体に
ビタミンC

パプリカやゴーヤー、キウイなどに多く含まれます。免疫カアップや紫外線による肌のダメージ対策が期待できます。特に赤パプリカのビタミンCはレモンの約1.7倍の量で、加熱しても壊れにくいので、炒め物などにすると良いでしょう。



体力の維持に
タンパク質

肉や魚、乳製品、大豆製品などに多く含まれます。筋肉など体のもとになる他、脳の動きをサポートする効果が期待できます。脂質が少なく軟らかい豚ヒレ肉や白身魚は蒸し料理や煮込み料理にすると胃腸の負担が軽くなります。



胃腸の動きをサポート
クエン酸

レモンなどのかんきつ類や梅干しなどに多く含まれます。胃酸の動きをサポートして食欲増進効果が期待できる他、タンパク質の吸収を促進する効果も期待できます。疲労回復をサポートする他、腸の運動を活性化させ便秘解消効果も期待できます。

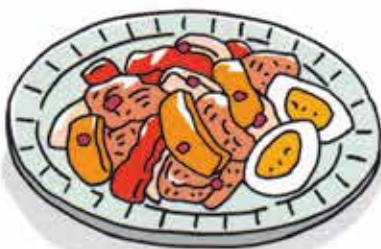


香りで食欲アップ
アリシン

タマネギやニンニクなどに含まれる香り成分です。食欲増進効果が期待できるため、暑さで食欲が落ちやすいこの時期にぴったりです。ビタミンB1の吸収を助けるなどの疲労回復効果も期待できます。熱に弱いので、加熱は短時間にしましょう。

これらの栄養素が多く取れる
夏バテ解消レシピ

梅とポン酢の彩り酢豚



材料(2人分)

豚ヒレ肉	160g
片栗粉	適量
タマネギ	1/2個(80g)
赤パプリカ	1/4個(40g)
黄パプリカ	1/4個(40g)
ゆで卵(好みのゆで加減)	1個
梅干し	2個
A ポン酢しょうゆ	大さじ2
砂糖	大さじ1/2
サラダ油	適量

作り方

- ①タマネギは1cmのくし切り、パプリカは1cmの短冊切りにする。
- ②豚ヒレ肉をひと口大に切って片栗粉を薄くまぶし、サラダ油を熱したフライパンで焼く。
- ③焼き色が付いたら裏返し、タマネギとパプリカを上を広げる。中火で3分ほど蒸し焼きにする。
- ④全体に火が通ったらAを加えてとろみがつくまで中火で炒める。
- ⑤梅干しの種を取り除き、5mm角くらいに刻んで④とあえる。皿に盛り、4等分のくし切りにしたゆで卵を2切れずつ添えて出来上がり。

どうしよう! 小型トラクターで、 事故を起こして しまった…

農作業中の重大な事故
の3割は、トラクター
によるものです!

令和5年の農作業事故死亡者数は
236人で、そのうち乗用型・歩行型
トラクターによる死亡者数は74人で
す。トラクターによる死亡事故が全体
の約3割を占めています。

(農林水産省：令和5年の農作業死亡事故についてより)



JAの
自動車共済に
お任せください!



ケース
1



トラクターが
農作業中に横転し、
運転者が下敷きにな
りケガをしました。

ケース
2



トラクターで、
他人をケガさせて
しまった。

自動車事故により他人を
死傷させた場合、高額
の損害賠償責任を負う恐
れがあります。

小型トラクターやコンバインなどの農耕作業用小型特殊自動車は
自賠責共済(保険)に加入することができません。

だから

自動車共済で、いざという時に備えて
おきましょう!

詳しくはお近くの JA 事業所または LA まで!!



エンドウ マメ科の連作を避け、酸性土を改良する

園芸研究家 ● 成松次郎

図1-1 畑の準備1

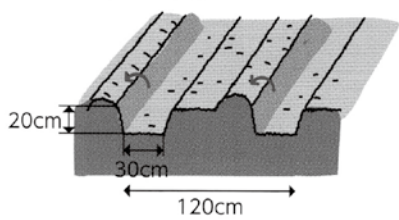


図1-2 畑の準備2

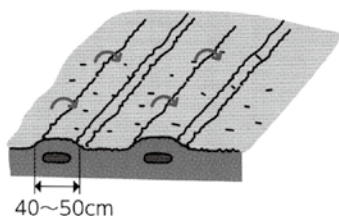


図2 種まき

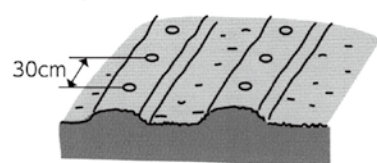


図3 支柱立て・ネット張り

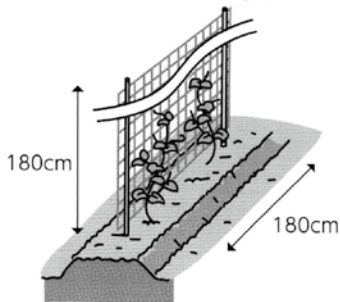
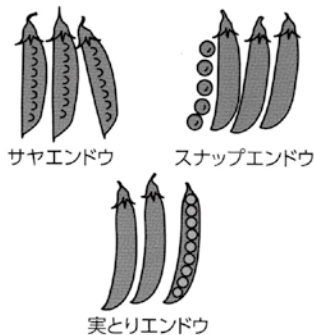


図4 収穫



栽培カレンダー(エンドウ)

気候帯	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	備考
冷涼地						●	●	●	■	■		早まきは苗作りをする
中間地	●	●	●	●	●	●	●	●	■	■		苗作りもできる
暖地												

● 種まき ●●● 苗作り ▲ 植え付け — 生育 ■ 収穫

エンドウには若いさやを食べるサヤエンドウ、実が大きくなり、みずみずしいさやのスナップエンドウ、若く充実した豆を取る実とりエンドウがあり、それぞれ目的に応じた品種を使います。発芽適温は18〜20度、生育適温は15〜20度で、冷涼な気候を好みます。

【品種】サヤエンドウでは「ニムラ白花きぬさや」(ヴィルモランみかど)、「砂糖エンドウ白星」(松永種苗)、「あずみ野30日絹莢PMR」(サカタのタネ)など、スナップエンドウでは、「ニムラサラダスナップ」(ヴィルモランみかど)、「スナック753」(サカタのタネ)などがあります。

【畑の準備】エンドウは同一の畑で連作すると生育障害が出やすくなります(いや地現象)。土壌酸度はpH6・0〜6・5が適しているため、4、5年

はマメ科を作っていない畑を選び、酸性土を改良しましょう。

種まき2週間前に畑1平方m当たり苦土石灰100gを全面に施し、土とよく混ぜておきます。次に、1週間前に畝幅120cmを取り、幅約30cm、深さ約20cmの溝を掘ります(図1-1)。この溝1m当たり化成肥料(NPK各成分10%)100gと堆肥1kgを入れ、土とよく混ぜて幅40〜50cmの畝を作ります(図1-2)。

【種まき】中間地では10月中旬〜11月上旬が適期で、それより早まきすると年内に生育が進み過ぎ、寒害を受けることがあります。じかまきでは、株間約30cm、深さ2、3cm、1カ所4、5粒をまきます(図2)。発芽の頃に鳥害を受けやすいため、防寒を兼ねて不織布をべたがけして保護しま

す。発芽がそろったら2本を残し、他は間引きます。なお、6〜9cmポットで育苗する場合、1ポット3、4粒を深さ2、3cmにまき、間引いて2本にします。根鉢が形成された頃(本葉3、4枚)に植え付けます。

【支柱立て・ネット張り】草丈が約10cmの頃、約180cm間隔に高さ約180cmの支柱を立て、キュウリネットを張り、できるだけ早く巻きひげをネットに絡ませます(図3)。

【追肥】春先に生育の勢いが良くなり始めた頃と開花始め頃、畝の両肩に化成肥料を畝1m当たり約10g与えます。スナップエンドウ、実とりエンドウでは収穫期にも同様に追肥しましょう。追肥後は株元に土寄せをします。

【病害虫防除】さやができる頃からハモグリバエが多発します。登録農薬な

どを使用基準に従って防除します。うどんこ病も登録農薬で予防します。

【収穫】適期に合わせて収穫しましょう。サヤエンドウは、子実の肥大が始まる開花後15日前後に収穫します。スナップエンドウは、開花後25日前後に収穫します。さやが鮮緑色で厚みが約1cm、豆が肥大してさやの断面が円形に膨らんだ頃が目安です。実とりエンドウは、さやをむいたときに子実が軽く離れる頃に収穫します(図4)。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



7月農作業メモ



水 稻
田代 好幸
農畜産課
0969-22-1105

◎いもち病・カメムシ・ウンカ対策 (6月号掲載分)

6月下旬から出穂が始まって、本田防除の時期となります。水田の約5～6割程度の出穂が確認できる時期に、1回目の本田防除として「トライスタークル」の散布をお願いします。

また、2回目の本田防除は7日～10日後に「キラップ」を散布してください。尚、収穫の14日前までに散布しましょう。

注) 本田防除の実施後、病害虫が確認される場合には臨時防除で対策をお願いします。散布する場合、農薬散布の回数制限・散布時期の制限がありますので、注意をお願いします。

注) 特別栽培米用の農薬以外を散布した場合、出荷米は一般米扱いとなりますが、収量の確保を優先してください。

◎収穫までの水管理

出穂期以降は、米の登熟や品質向上を図るために、間断灌水による水管理をしてください。酸素の補給、根の活力維持につながります。落水は、収穫に支障がない限り遅らせてください(収穫前5～7日程度)

注) 登熟期に、高温障害等による品質低下が見受けられることから、水管理は十分に注意を払いましょう。

◎収穫・乾燥調整

早い地区では、7月下旬より収穫が始まります。穂のもみの85%程度が黄色く色づいた頃が収穫の最適期です。

茎や葉が緑色であっても、籾は黄色くなっている事が多いので、注意が必要です。

刈り取り作業では、生もみで長時間放置するとムレ米となりますので、収穫後は速やかに通風乾燥をしてください。

高温乾燥は、胴割れ等の発生原因となります。

掛け干しの場合は、期間を3～4日程度を目安として、適正玄米水分15%～16%で脱穀してください。尚、玄米仕上げ水分は15%を目標としてください。過乾燥や高水分は、品質・食味を落としますので注意しましょう。

注) 籾の乾燥中は、排気ホース等から籾殻が飛散するため、近隣の迷惑にならないよう心がけてください。



7月・8月の柑橘園管理



果 樹
鶴浜 研二
果樹園芸課
080-1771-4257

1. 病害虫防除

品種	散布時期	対象病害虫	農薬名	散布時期
温州	7月上旬～中旬	※アザミウマ類 ※ゴマダラカミキリ	リーズン顆粒水和剤	2,000倍
		黒点病	混用 エムダイファー水和剤	600倍
	8月上旬	黒点病	ジマンダイセン水和剤	400倍
中晩柑	7月上旬	※アザミウマ類 ※ゴマダラカミキリ	リーズン顆粒水和剤	2,000倍
		黒点病	混用 エムダイファー水和剤	600倍
	8月中旬～下旬	黒点病 ミカンハダニ ミカンサビダニ	ジマンダイセン水和剤 メビウスフロアブル	600倍 2,000倍
共通	7月上旬～9月中旬	※アザミウマ類 ※ゴマダラカミキリ	リーズン顆粒水和剤	2,000倍
		黒点病	混用 エムダイファー水和剤	600倍
	発生時	ミカンハダニ、ミカンサビダニ カメムシ	メビウスフロアブル ダニオーテフロアブル スターマイトフロアブル スタークル顆粒水溶剤 テルスターフロアブル	2,000倍 3,000倍 2,000倍 2,000倍 3,000倍

※アザミウマ類、ゴマダラカミキリはアドマイヤーフロアブル 4,000倍も使用可能です。(7月)

※カイガラムシ多発の場合は、モスピランSL2,000倍を散布しましょう。

※収穫前日数が近い場合は、ナティーボ(F) 1,500倍を散布しましょう。

2. 施 肥 ○省力化タイプ(年2回施肥タイプ)

対象品種	肥料名	施肥時期	10a当たり
テコポン・清見・甘夏・河内晩柑・パール柑	新アグリロング28号	7月上旬	5袋

3. 葉面散布

目的	薬剤名	希釈倍数	備考
果皮強化対策	ジューシーカル 又は バイカルティ	1,000倍	温州・テコポン等

4. 摘果の実施

○温州みかん・・・小玉果や病害虫果を中心に摘果を行い、日焼けしやすい上向き果も摘果しましょう。

○中 晩 柑・・・7月中旬までに粗摘果が終わるよう作業を進め、最終着果数の2割増し程度まで落とします。品質の悪い裾成り・内成りから行い、その後赤道部と樹上部の小玉果や傷果を中心に摘果しましょう。

理事会だより

5月28日(木)にJA天草会館で開かれた定例理事会では、役員29人が出席し、以下の議案について審議・承認しました。

監査報告

- 独立監査人の監査報告書及び監事監査報告

経過報告

- 事業実績報告
- 専門委員会報告

協議事項

- 第1号議案／令和7年度決算報告及び剰余金処分案について
第34回通常総代会資料(事業実績)
- 第2号議案／令和7年度資産自己査定結果総括表について
- 第3号議案／令和7年度減損損失について
- 第4号議案／令和8年度総合財務・総合損益計画について
- 第5号議案／自己改革工程表について
- 第6号議案／JA活動総合2カ年計画について
- 第7号議案／令和8年度理事の報酬について
- 第8号議案／夏期賞与の支給について

報告事項

- 会計監査人の再任について
- 第34回 通常総代会での組合員および組合組織表彰について
- 令和7年度協同会社の決算について
- 令和8年度協同会社の計画について
- 出資金増資運動の実績報告について
- 令和8年度4月末自主検査報告について
- 「JAバンク熊本夏の定期貯金キャンペーン2026」の実施要領について
- JAバンク経営戦略シートの策定について
- 市況速報

JAあまくさ移動金融店舗車

8月運休日のお知らせ

8月11日(火) 山の日 は運休とさせていただきます。

※詳しい運行スケジュールは、JAあまくさホームページでご確認ください。

クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号
今月号の中でよかった記事・身近な出来事・話題をお書きください

8630032
JAあまぐさ
天草市太田町1-2
総務企画部

クイズを解いて
ご応募ください!

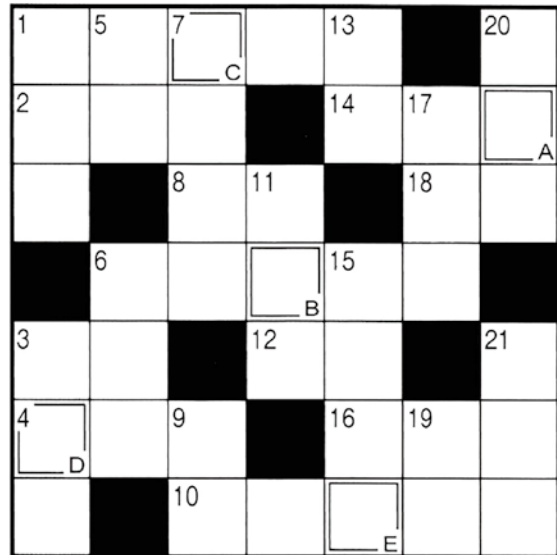
正解者の中から抽選で4名の方に、「エコープこめ油(750g)・オイスターソース(135g)・簡単和風だし旨!だしパック(8g×16袋)」セットをお送りします。



プレゼント

クイズ
頭の体操

二重マスの文字をA→Eの順に並べて出来る言葉はなんでしょう?



◆応募締切 7月31日必着◆

ヨコのカギ

- ① 令和8年は8月7日。暦の上ではもう秋です
- ② 髪に結わえるもの
- ③ タンスや机などのこと
- ④ ——ギターは電気信号で音を奏でます
- ⑥ 8月15日は——記念日。平和を祈念します
- ⑧ 初対面の人に——紹介をした
- ⑩ ハンバーグに入れるタマネギの切り方
- ⑫ 多くは殻を持つ生き物。実はウミウシもこの仲間
- ⑭ 炒った大豆をひいたもの
- ⑯ 分度器で測ります
- ⑱ 納豆が引くもの

5月号のクイズの答えは、「シンジャガ」でした。
抽選の結果、次の方々に「エコープ飲む黒酢ストレート1ℓ(りんご・ブルーベリー・シークワサー)」をお送りします。



クイズ当選者 おめでとうございます!

- 松島町 西釜 千鳥さん 大矢野町 小林 光春さん
新和町 小田 礼子さん 天草町 中本 舞さん

- ① 飛行機が飛び立つこと
- ③ 田んぼでゲロゲロ鳴きます
- ⑤ 土地の広さをあらわす単位のひとつ
- ⑥ シヤワシヤワと蝉——が降り注ぐ
- ⑦ パールともいいます
- ⑨ ヒヨコのための栄養が豊富な部分
- ⑪ 小銭入れに入れます
- ⑬ ブイもの仲間
- ⑮ 北海道と青森を結ぶ——トンネル
- ⑰ 野球の出場メンバーのこと
- ⑱ 金づちで打ち込みます
- ⑳ 嘘から出た——
- ㉑ 盆——、阿波——

タテのカギ

みんなのひるば



心 が折れる出来事があり、一か月以上沈んでいましたが、自分に言い聞かせて「花と家庭菜園」を頑張っているかと思っています。きれいな花が咲きますように。(倉岳町 Uさん)

畑 にモンシロチョウが飛び交っていて、優しく見ていたらブロッコリーの葉がレース模様!!青虫がいつぱい成長していました。癒しと現実とは...トホホ...です。(姫戸町 名無しさん)

花 粉症に大葉を食べると良いと聞いたので、「みんなのコンテナ菜園」を参考に、さっそく種まきをしました。秋の花粉症に備えて、収穫が楽しみです!(熊本市 Sさん)

新 入職員ガンバレ!(大矢野町 Kさん)

浅 海のばんかん祭りに毎年楽しんで行っています。今年も特産品のばんかんが用意され、孫と楽しんできました。(新和町 Oさん)

天 草とれたて市場は、とにかく何でも新鮮でおいしいものが沢山あり、楽しみで良く寄ります!4月に芋づるが並んでいて、200本ほど植えてみました。下浦の農家さんありがとうございます!(天草町 Uさん)

NO.27 (西総支部)

地域の方に自慢の料理を紹介してもらいます。

私の十八番料理♪



心あたたまる懐かしの味

ジャガイモのせんだご汁

材料 (4人分)

ジャガイモ (中) …… 6 個	共同購入和風だし …… 1 パック
にんじん …… 1/4 本	料理酒 …… 大さじ 1
玉ねぎ (中) …… 1 個	JAうすくち醤油 …… 大さじ 3
干しシイタケ (大) …… 1 枚	水 …… 600cc
→戻し汁 …… 500cc	
ちくわ (小) …… 2 本	
すり身 (鶏肉でも可) … 少々	
ネギ (オクラでも可) … 適量	



POINT
ジャガイモの絞り汁が上澄みとでんぷんに分離するまでしっかり置くこと!

作り方

- ① ジャガイモは皮をむいてすりおろし、布などで絞る。絞り汁はボウルに残し、しばらく置いておく。干しシイタケは 500ccの水で戻す。
- ② 人参はイチョウ切り、玉ねぎとシイタケはスライス、ちくわは薄い輪切りにする。
- ③ 鍋に水を入れ、火をつけずに和風だしを入れておく。
- ④ ①で作った絞り汁の上澄み液は捨て、沈殿しているでんぷんと絞ったジャガイモを合わせて 500 円玉ほどの大きさにこねる。
- ⑤ 鍋に火をかけ、シイタケの戻し汁を入れ、沸騰させる。
- ⑥ 沸騰したらだしパックを取り除き、②で刻んだ具材とすり身を入れる。再び沸騰する直前に、ジャガイモ団子と調味料を加え、中火弱にして、ジャガイモが半透明になったら火を止める。
- ⑦ 仕上げにネギを盛り付けて完成です。



今回ご紹介いただいたのは、
女性部西総支部 富津支部 もりた ともこ 森田 友子さん

天草で唯一農業が学べる学校 熊本県立天草拓心高校の取り組み

NO.12



隔月で紹介します

目頃の学びを競い合う 農業鑑定競技会に挑戦

天草拓心高校生物生産科は5月27日、1～3年生で農業鑑定競技会を開きました。

「農業鑑定競技」とは、日本学校農業クラブ (FFJ) が主催する公式競技で、農業高校の生徒が日頃の学習で身に付けた知識や技術を、実物や写真を用いた筆記問題で競い合うものです。

日本学校農業クラブは1948年、戦後の新制高等学校の学習の中で、農業高校生が自主的・自発的に創設した組織として全国で誕生しました。

協議では、1問20秒 (計算問題は40秒) という限られた時間で次々と解答しなければならないため、生徒たちは緊張した面持ちで真剣に取り組んでいました。

成績上位の12人は、7月28日に熊本県農業大学校で開かれる県大会に出場します。生徒たちは、日頃の学習成果を発揮できるように意欲を高めています。



天草拓心高校へつながる QR コード↓
(スマホで読み取って下さい。)
学校での活動を掲載しています!



【ホームページ】



【Instagram】



るっくるっくチャイルド



詩乃ちゃん 7才

想世ちゃん 3才

岳くん 8才

〈牛深支所〉魚貫町
こもり あさひ 小森 旭さん・か な こ 可南子さん
 牛深町在住 こもり 小森 かつひろ 勝広さんのお孫さん
 魚貫町在住 ふくもと 福本 ひろと 浩人さん・みなこ 美奈子さんのお孫さん
 ★『米作りみんなで頑張ります!』



叶鏡ちゃん 9才

光惶くん 6才

琉鏡ちゃん 4才

せあ 惶碧くん 3才

〈大矢野支所〉
なりた たくや 成田 拓也さん・まみ 磨鏡さん
 大矢野町在住 なりた みつゆき 成田 光幸さん・さちえ 幸江さんのお孫さん
 ★『じいじの畑でかんちょほりしようね。ばあばガネ揚げ作ってね。』

募集

るっくるっくチャイルド&みんなのひろば!!

本誌では、みなさんからの応募をお待ちしています。広報誌を飾るのは、あなた達です!!!

令和9年4月採用 JAあまくさ職員採用試験実施要領

1. 試験日 令和8年9月25日(金)
2. 申込締切 令和8年9月16日(水)
3. 試験の区分及び受験資格
 - (1) 高校…高校卒業の方または、令和9年3月卒業見込みの方及びこれと同程度以上の能力を有する方
 - (2) 短大…短大卒業の方または、令和9年3月卒業見込みの方及びこれと同程度以上の能力を有する方
 - (3) 大学…大学卒業の方または、令和9年3月卒業見込みの方及びこれと同程度以上の能力を有する方
4. 採用予定 10名程度
5. 初任給

高校卒	178,600円
短大卒	186,500円
大学卒	200,500円
6. 試験科目
 - ①筆記試験：基礎能力検査（言語・数理・倫理）・適性検査
 - ②面接試験
7. 試験会場 熊本県天草市南新町 8-7 JA天草会館 2F
8. 提出書類

履歴書・成績証明書・卒業証明書又は卒業見込証明書
 受験票に写真添付する為の顔写真 (3cm×4cm) 1枚 (履歴書写真と同じ)
9. 提出先

〒863-0032
 熊本県天草市太田町 1番地 2
 あまくさ農業協同組合
 総務企画部 採用担当 宛
 TEL0969-22-1100

知ることは、 未来を切り拓く。

持続可能な食と農を守るために。
様々なかたちで農業を応援する
取り組みが広がっています。
さあ、あなたも。できることから
始めてみませんか？



発行／あまくさ農業協同組合

〒8630032 天草市太田町1番地2
TEL0969221100 FAX0969221130

発行日／令和8年7月1日
発行責任者／崎本 和人
印刷所／株式会社キヤップ
編集責任部署／総務企画部

ホームページ <http://www.jaamakusa.or.jp/>
おたよりを広報誌に掲載する場合がございますが、いただいたご意見については今後の本広報誌の編集企画の参考以外の目的には使用しません。



THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞



日本農業新聞は、持続可能な食と農の実現へ「GX」「DX」「AX」「未来人材」をキーワードに新聞の発行だけでなく、農業者やJA、自治体、企業・団体、学生等とともに農業の課題解決をすすめています。



電子版 キャンペーン実施中

知ることは未来を切り拓く 🔍 キャンペーンサイトはこちら

【お問い合わせ先】株式会社日本農業新聞 電子版事務局 dkanri@agrnews.co.jp

